鈴木りゆか
CSW68 日本政府代表団ユース代表
日本 BPW 連合会 会員

CSW68 ユース代表インタラクティブ・ダイアログ

スピーチ原稿と日本語訳、また聴衆からのリアクションについて

スピーチ原稿

Good afternoon, everyone,

I am Riyuka Suzuki, the official youth delegate of the Government of Japan. I feel very honoured to have this opportunity today and to raise my voice as a youth representative.

As I made my journey from Japan to New York, the word “representation” echoed in my mind, resonating with the core of our discussion here. In Japan, the average age of our current cabinet members is 63.5 years old with the percentage of female policymakers in the House of Representatives only being 10.4 percent.

Though I stand here, delivering this speech, as a young female representative of my country. These figures paint a stark reality: our political landscape is characterised by primarily older, cis-gender and heterosexual men, who often fail to truly understand or represent the diverse needs and experiences of our current populace.

This is not just a problem in Japan. Across the globe, political elites cling to power, perpetuating a system of elitism, meritocracy, and academic exclusivity. Wealth, influence, and reputation are guarded, while ordinary citizens are left to bear the brunt of their decisions.

But let us ask ourselves: do these leaders truly understand the struggles of those they claim to represent? Can they empathise with the challenges faced by women and LGBTQI+ in poverty, marginalised communities, or those affected by colonial violence? The answer, all too often, is no.

Aligning with this year’s priority theme of CSW, it is essential to devise economic aid measures that empower minorities to run for leadership positions. Simply advocating for increasing the number of minority groups is not enough to bring about the real change we need.

We gather here today for CSW68, faced with the task of advancing gender equality and empowerment. Yet, mere advocacy for increased representation is not enough. We must take tangible steps to empower minorities, provide economic support, and dismantle the barriers that hinder their participation in leadership roles.

I would like to use my privilege to insist on the necessity of the presence of my dear friends around the world, whose voices are silenced due to visa denials, conflicts, migration, financial hardships, disabilities, or caregiving responsibilities. As the true agents of change, they should be here in this dialogue today and at the centre of the decision-making table.

As I conclude my remarks, I leave you with a challenge: let us redefine "representation" not as a mere token gesture, but as a catalyst for meaningful transformation. Let us bridge the gap between rhetoric and reality, and let our actions speak louder than words. I thank you for your attention.

鈴木りゆか
CSW68 日本政府代表団ユース代表
日本 BPW 連合会 会員

スピーチの日本語訳

みなさま、こんにちは

日本政府代表団のユース代表を拝命しました、鈴木りゆかです。

本日、このような機会をいただき、日本のユースの代表として声を上げられることを大変光栄に存じます。

日本からニューヨークへの旅の途中、この場における議論の核心でもある＜代表性＞という言葉について繰り返し思考を巡らせました。日本では、現在の閣僚の平均年齢は 63.5 歳であり、衆議院における女性の政策立案者の割合は僅か 10.4％です。

私は今この場で、若い女性の＜代表＞としてこの演説をしていますが、これらの数字は日本におけるジェンダー課題の厳しい現実を顕著に表しています。私たちが目の当たりにする政治の風景は、主に高齢のシスジェンダー、異性愛者の男性によって占められており、その多くは、現代社会における多様なニーズや経験を真に理解し代表することができていません。

これは日本だけの問題ではありません。世界のあらゆる国や地域において、多くの政策エリートたちは権力に固執し、エリート主義、メリトクラシー（能力主義）、学歴主義の構造的なシステムを固定化し、再生産しつづけています。富、支配力、名声は守られつづけ、一般市民は政策エリートの決定の重荷を負わされている状況です。

私たちは、自問する必要があります：これらの政治指導者は本当に彼らが代表すると主張する人びとの苦悩を理解しているのでしょうか？彼らは、貧困や周縁化されたコミュニティに生きる女性やLGBTQI＋の人びとが直面する課題、残存する植民地主義の影響にさらされる人びとに共感できるのでしょうか？その答えは多くの場合、「いいえ」です。

今年の CSW の優先テーマに沿って、マイノリティが指導的地位に立候補することができる経済的支援策を考案することが不可欠です。単にマイノリティの代表者の数を増やすことを主張するだけでは、私たちが必要とする真の抜本的な変化をもたらすことはできません。

私たちは、ジェンダー平等とエンパワーメントを推進するためにここ CSW68 に集まっています。しかし、マイノリティの＜代表＞の増加を提唱するだけでは不十分です。私たちは、マイノリティに経済的支援を提供すること、リーダーシップの役割への参加を妨げる障壁を取り除くこと、そして彼女ら彼らをエンパワーすることを果たすために、具体的な措置を講じることが求められています。

私は、CSW68 において発言をすることができるという自らの＜特権＞を利活用して、ビザの発給拒否、紛争、資金不足、障がい、ケア労働への従事により声を上げることができない世界中の親愛なる友人たちの存在の必要性を強調したく思います。真の変革の担い手である彼女ら彼らこそが、今日この対話型パネルに参加し、意思決定のテーブルの中心にいるべきです。

このスピーチを締めくくるにあたり、みなさまに＜挑戦＞を提示します：＜代表性＞を 単なる形式ではなく、意味のある変革の促進要因として再定義しましょう。レトリック （実質を伴わない表現上の言葉）と現実の間のギャップを埋め、行動で示しましょう。

ご清聴ありがとうございました。

鈴木りゆか
CSW68 日本政府代表団ユース代表
日本 BPW 連合会 会員

スピーチへの聴衆のリアクション

ユースのインタラクティブ・ダイアログ終了後、私のスピーチを聞いてくださった他の加盟国のユースをはじめとし、UN Women の職員の方、その場にいらした警備員の方など多くの方々が、私の席まで駆け寄り、スピーチの内容についての共感やお褒めのお言葉をくださりました。国籍、エスニシティ、性別、世代、職業の枠組みを超えて、多くの人たちから「とても勇気つけられるスピーチの内容であった」と賞賛のお声をいただきました。このようにスピーチの評価をいただくことができたのは、ひとえに、決められた枠組みの中で自由な発言の場を保障してくださった、外務省の皆様の広いお心があってこそのことであると認識しています。この場をお借りして、外務省の皆様に感謝の気持ちを申し上げます。現状、日本においては、ユース自身が原稿を一から作ることができます。この重要性を声高に訴えつづけることで、この権利を未来の若者のためにも守りつづけていきたいです。

スピーチ発表中の様子（提供：UN Women）

他の加盟国のユース代表との記念写真

ユース代表インタラクティブ・ダイアログの後に声をかけに来てくださったユースや国連職員との記念写真